

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2022 年9月



彼岸花

教頭業務分科会・事務機能強化分科会・養護教諭分科会を開催しました

職種別の分科会では、先生方が各学校で工夫されている取組の様子や課題、今後さらに働き方改革を進めていくために学校と教育委員会事務局とが協力して取り組んでいけること等が挙げられました。

★事務機能強化分科会（7月26日）

- ・事務職員の人材育成について方針が示されていないので、事務職員自身が職務についてビジョンを描きづらい。教員同様「資質向上のための指針」を作成してほしい。
- ・事務支援室のあり方や業務内容等について、支援室内だけでなく教育委員会事務局や管理職と話し合う場を定期的に設けてほしい。
- ・事務職員の研修は、初任者研修以外は人材育成センター主催のもののみなので、事務機能の維持・強化のためにも研修体制の構築が必要なのではないか。



★養護教諭分科会（8月4日）

- ・まずは自分自身でできること(健康診断の事前指導をロイロノートで作成・ToDoリスト・連絡カードの活用等)に取り組んでいるが、養護教諭の仕事は削れないものが多い。
- ・少数職種だからこそ、年休等を取りにくい状況がある。また、学校内だけでは、養護教諭の仕事について相談することが難しいので、再任用短時間勤務の方の活用など、体制づくりのバックアップがあるとよい。



★教頭業務分科会（8月5日）

- ・文書発出時の添付資料のPDF結合やGWキャビネットの整理（ナンバリング）等、事務局側の配慮で、教頭の文書処理の時間が削減できる。
- ・前任校では、帰りの施錠を学年当番にしていた。鍵の開け閉め等の教頭業務については、事務局内であり方を整理し、各学校での工夫等とあわせて通知してほしい。
- ・校長先生と共に、職員一人ひとりの月ごとの在校時間などを確認して、それぞれの課題を見つけ、校務分掌との兼ね合いや健康状態等を考慮しながら、声掛け面談等を行っている。



以上のとおり、職種別の分科会ではそれぞれの職種ならではの課題等が出されました。分科会で出たご意見等について、事務局内の検討会を9月16日に開催し、課題解決に向けて取組を進めています。

黒髪小の校長先生・教頭先生へインタビュー

会議のルール

- ① 会議時間は1時間以内を原則とし、みんなで時間を守る。
- ② 司会は時間配分と終わりの時間を明言。
- ③ 司会者は会議の目的、何をどこまで決めるか明言。
- ④ 発言は、結論を先に、根拠と理由を簡潔に添える。
- ⑤ チームで黒髪小の子どもたちのために仕事をするという視点で発言する。

- ・「働き方改革」は、時間の使い方の工夫、時間を守ることを意識。
- ・Teamsで朝の連絡を確認、安全安心メールの欠席連絡確認を各自行う。
- ・全員が時間を守ることで、夕方の会議の時間が確保できる。15時と16時を意識。
- ・月曜に50分教材研究・事務整理の時間を確保。部活を担当しない火曜と金曜に教育相談・学習支援の時間を50分確保。



働き方改革に取り組むことで、職員全体の雰囲気が変わってきたように思います。本校では、昨年度から夏季休業中の学校閉庁日を2回に分けて設定しています。また、左記のような約束事を掲示し全職員で取り組んでいます。最近では、片付けがブームになっています。

柴田治穂 校長

先生方が、話しやすいような環境づくりを心がけています。片付けも全職員で取り組むことでチームワークが生まれています。

一法師文明 教頭

次号では、部活動の今後のあり方に関する検討会の様子等についてお知らせする予定です。

【発行】 熊本市教育委員会事務局 教育総務部 学校改革推進課

TEL: (096) 328-2708

熊本市教育委員会 働き方改革

